

# 校長室だより

2 月【如月（きさらぎ）】 28 号

生駒市立緑ヶ丘中学校 校長 滝澤治生

テスト前となりました。3 年生は明日 21 日から、1・2 年生は 25 日から学年末テストとなります。いよいよ学年末の締めくくりです。テストの区切りがつけば、先生方は成績処理の作業に進みます。3 学期は懇談がありませんので、生徒の皆さんへ直接、通知表と修了証をお渡しすることになります。

3 年生の皆さんは、私立高校の入試、公立高校の特色選抜を終え、3 月の一般選抜を残すのみとなります。一般選抜を控えているみなさん、学年末テストが終わってすぐですが、ラストスパート頑張ってくださいね。そして、進路決定した 3 年生の皆さん、まだ受検を控えている仲間たちを陰ながらサポートしてあげてください。そして、自分自身の進学に向けて着々と準備を進めてください。

1・2 年生の皆さん。進級に向けて、みなさんも次の 1 年間のプランをしっかりと描いていきましょう。現学年をしっかりと締めくくり、新学年のスタートダッシュにつながることを願っています。

## ◇ 授業参観がありました

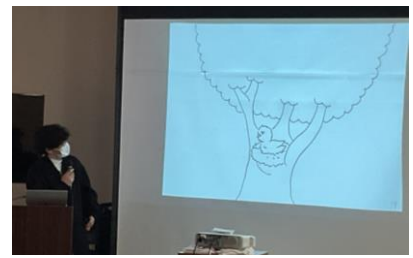
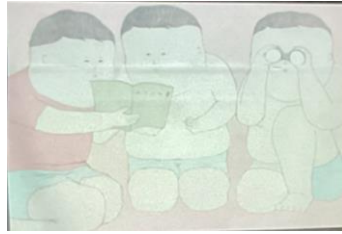
2 月 14 日（金）に、第 1 学年と第 2 学年で授業参観を行いました。参観後には学年懇談を開き、学校生活の様子や修学旅行、進路についてなどの説明をしました。ご来校いただきました保護者の皆様方ありがとうございました。

## ◇ 学校運営協議会がありました

2 月 18 日（火）、学校運営協議会の第 3 回会議が開かれました。今年度の締めくくりとして、学校の教育活動を振り返り、次年度に向けて改善すべきところや重点的に取り組んでいくべきところなどについて、委員の皆さんから助言をいただきました。次年度も地域の方のお力を、より一層学校に取り入れていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

## ◇ 美術の出前授業がありました

2 月 17 日（月）、1 年生を対象とした美術科の出前授業「アニメーション講座」を実施しました。講師として、大手前大学准教授の和田淳（わだあつし）先生をお招きしました。和田先生は、大阪教育大学および京都精華大学にもお勤めであり、ベネチア国際映画祭の短編部門で銀熊賞を受賞、オタワ国際映画祭でグランプリを受賞、さらに文化庁「令和 5 年度（第 74 回）芸術選奨文部科学大臣新人賞」を受賞されるなど、国際的な活躍をされています。アニメーションの制作や分野について知り、「美術」を仕事にすることや自分を表現することなどについて学びました。



## break time

## 大和言葉(やまとことば)について

時代劇などのセリフで耳にするような古い言葉(かたじけない、恐れ入る、など)もありますが、日常でつかわれている言葉(おかげさまで、お目にかかる、など)もあります。

今回は、数の数え方について注目してみました。いわゆる「ひとつ、ふたつ、みっつ、よっつ、いつつ、むっつ、ななつ、やっつ、このつ、とお」のことです。

|     | 一   | 二 | 三  | 四 | 五  | 六  | 七  | 八  | 九   | 十    |
|-----|-----|---|----|---|----|----|----|----|-----|------|
| 訓読み | ひ   | ふ | み  | よ | いつ | む  | なな | や  | こ   | とお   |
| 音読み | 【いち | に | さん | し | ご  | ろく | しち | はち | きゅう | じゅう】 |
|     |     |   |    |   |    |    |    |    | (く) |      |

ここで気になることがあります。「ひと口ちょうだい」、「ふた口ちょうだい」は使いますが、「み口」、「よ口」、「いつ口」は使われているのでしょうか。それとも、「さん口」、「し口」、「ご口」と使われているのでしょうか。

同じく、「ひと切れ」、「ふた切れ」は言いますが、「み切れ」、「よ切れ」はどうでしょうか。「み切れ」より「さん切れ」の方を耳にするような気がします。

「さん口」、「ご口」は音読みで、「よ口(よん口)」は訓読みとなっていますね。

つまり、大和言葉(訓読み)の数え方と現代(音読み)の数え方が混ざって使われているということですね。混ざって使われることがよいのか悪いのかは別として、不思議さを感じました。

3時(さんじ)といいます、4時(よじ)といいますね。また、4分(よんぶん、よんぷん)と7分(ななぶん)も大和言葉で言われますね。どうやら、4と7は訓読みにして数えることが多いようです。

ちなみに、一から十を数えると、「いち、に、さん、し、ご、ろく、しち、はち、きゅう、じゅう」ですが、十から一へカウントダウンすると、「じゅう、きゅう、はち、なな、ろく、ご、よん、さん、に、いち」になることを以前に松本先生から教えていただきました。本当だ!! なぜなのでしょう!?

言葉は奥が深くおもしろいですが、おもしろいものですね。